

病院概況



令和7年8月
茨城県立こころの医療センター

茨城県笠間市旭町 654
電話 0296(77)1151

茨城県の精神科医療の状況と当院の役割

(「第8次茨城県保健医療計画」より)

精神疾患は、その患者数が急増しており、令和2(2020)年には全国で614万人を超える水準となっています。国の調査結果では、国民の4人に1人(25%)が生涯でうつ病等の気分障害、不安障害及び物質関連障害のいずれかを経験していることが明らかとなっており、誰もが罹患する可能性のある病気です。本県における精神疾患の入院患者数は5,514人(令和4(2022)年6月末現在)で、通院患者数は49,485人(令和5(2023)年3月末現在)となっています。入院患者数は減少傾向ですが、通院患者数は年々増加しています。通院患者数の疾病別の内訳では、うつ病等の気分障害が18,398人(37.2%)で最も多く、次いで統合失調症が13,853人(28.0%)となっていますが、特に、うつ病等の気分障害は急増しており、また、高齢化に伴い認知症も増加しています。また、全国の自殺者数は平成10(1988)年以降3万人前後で推移していましたが、平成22(2020)年以降は減少を続け、令和元(2019)年は19,425人となりました。しかし、令和2(2020)年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響等で、11年ぶりに増加に転じました。日本の自殺死亡率は主要国の中で高い水準にあり、依然として厳しい状況にあります。本県における自殺死亡率(人口10万対)は、年々減少傾向にありましたが、全国と同様に令和2(2020)年に増加に転じ、令和4(2022)年は18.1となっており、全国平均の17.4よりも高い水準で推移しています。

県立こころの医療センターは、県内精神科医療の基幹病院として、次の医療等を提供しています。

- ・ 統合失調症などの精神疾患に関する診断治療のほか、精神科救急医療や児童・思春期精神疾患、発達障害、薬物・アルコール依存症、医療観察法対象患者に対する精神科専門医療を提供するとともに、睡眠障害の診断治療を行っています。
- ・ 重度の症状を呈する精神科急性期患者等に対応するため、医師・看護師等を常時配置する常時対応型精神科救急医療施設としての役割を果たしています。
- ・ 患者の症状や病態に応じた適切な医療を提供するためには、医療機関同士が相互に連携協力することが重要であることから、関係機関とのネットワークづくりを推進しています。
- ・ 在宅の精神障害者を支援するため、医師や看護師、精神保健福祉士等が積極的に地域に出向き、往診や訪問看護、市町村における会議や訪問活動への参加など、アウトリーチ活動を実施しています。
- ・ 新興感染症感染拡大等に対応するため、平時から、陰圧病床ユニットとして稼働できる体制維持に努めています。

目次

I	病院の沿革	4
II	組織	6
III	職種別職員現員調	7
IV	概況	8
i	こころの医療センター	8
1	敷地・建物	8
(1)	敷地面積	8
(2)	建物面積	8
2	診療科目	8
3	病床数	9
4	施設基準等	9
5	患者の状況	10
(1)	外来患者	10
(2)	入院患者	11
(3)	病棟別病床利用の状況	12
(4)	在院患者の疾病区分	13
(5)	在院患者の年齢構成	13
(6)	在院患者の費用区分	13
(7)	在院患者の在院期間	14
(8)	在院患者の入院形態別	14
(9)	新規入院患者の入院形態	14
(10)	病棟別新規入院患者の入院形態別患者数（令和6年度）	15
(11)	退院患者の在院期間	15
(12)	退院患者の転帰別状況	15
(13)	診療圏	16
6	専門医療	17
(1)	精神科救急医療	17
(2)	薬物等中毒性精神障害治療	17
(3)	児童・思春期精神科医療	18
①	外来診療 当院における初診患者数と20歳未満の初診患者数の年度別推移	18
②	20歳未満の初診患者の年齢構成	18
③	児童・思春期外来の初診患者数と延べ患者数の年度別推移	18
④	入院患者の動向（児童・思春期専門病棟の入院患者の年度別推移）	19
(4)	医療観察法に基づく入院及び指定通院患者数	19
7	各部門の実施状況	20
(1)	看護局	20
①	公開講座一覧	20
(2)	リハビリテーション部	21
①	デイケア	21
②	作業療法	22
③	理学療法	24
(3)	総合診療部	25
①	心理室	25
②	栄養科	26
③	薬剤科	26
④	研究検査科	27
(4)	福祉連携サービス部	28
①	医療福祉相談室	28
②	地域医療連携室	28
(5)	訪問看護	30
V	決算の状況	31
1	損益計算書（税抜き）	31

2	貸借対照表（税抜き）	32
3	財務分析	33
4	経営分析	34
VI	令和7年度予算	35
1	収益的収入及び支出	35
2	資本的収入及び支出	35

I 病院の沿革

当院は、東茨城郡下中妻村（現在の水戸市（旧内原町））にあった全国農業会内原病院を買収し、県内唯一の県立精神病院として、精神衛生法が制定された昭和25年5月に茨城県立内原精神病院として開設された。

しかし、開院後まもなく病床の不足をきたしたため、施設の拡充整備を重ね、医療需要に対応してきたが、更なる病床不足、敷地の狭隘、施設の老朽化等のため、昭和30年に病院の再建計画が始まり、昭和35年8月、現在地に茨城県立友部病院として開設された。

当院は開設当初から、患者の社会復帰の促進を念頭においた思い切った病棟開放性の導入など、積極的な開放治療を展開し、一般科病院との格差是正を試み、全国から「東洋一」として注目を浴びた。

その後も、本県における精神科病院の基幹病院として治療困難な患者の受け入れを行うとともに、生活療法、作業療法、レクリエーション療法及び精神科デイケアを積極的に推進するなど、精神障害者の社会復帰に成果を上げてきた。

また、精神科医療の臨床実習・研修病院として県内の看護専門学校（校）、筑波大学、茨城大学等の実習学生等を受け入れ、実地指導を行うとともに、臨床研修医の研修病院として専門医の養成と教育の場としても貢献している。

平成8年4月からは、訪問看護に2名の専任の専門職員を配置し、社会生活支援活動を実施し、平成16年4月には、患者の社会復帰を促進するとともに、地域における精神障害者の支援等、総合的な地域精神保健対策を進めるため、新たに社会復帰支援室を設け、患者の社会復帰促進事業にも力をいれている。

また、長期入院患者（社会的入院患者）の社会復帰を促進した結果、病棟間において医療・看護サービスに格差が生じたため、平成8年7月に、12病棟を11病棟に統合した。

さらに平成11年4月には10病棟へ、平成16年4月には9病棟、平成18年4月には、8病棟、平成19年4月には、7病棟と統廃合を行った。

一方、平成14年7月には新たに児童・思春期専門病棟32床を開設するなど、効率の良い運用と管理体制の整備による再編成を推進している。

また、開設以来実施されてきた性別看護にかえて、男性及び女性看護師による混合看護を平成8年度より1ヶ病棟において開始し、現在は全病棟で実施している。

これら病棟の再編成等を進めるとともに、精神障害のために自傷・他害のおそれがあり、かつ緊急に医療及び保護が必要と認められる精神障害者に対し、精神保健福祉法第24条の規定に基づく警察官通報に限定した休日（昼間）の救急業務を平成8年10月に開始、更に平成16年3月には平日夜間（21時まで受付）に拡大、平成19年4月には24時間365日の受け入れを開始した。

また、平成17年度からは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）」の規定に基づく鑑定入院及び指定通院医療の受け入れを開始、平成20年8月からは、3-1病棟において精神科救急入院料いわゆるスーパー救急の算定を開始するなど更なる手厚い看護の実施と政策医療にも積極的に取り組んでいる。

平成18年度からは、病院運営の効率化や経営の健全化を図ることを目的として地方公営企業法の全部適用による運営を行っている。

病院建築後49年が経過し、施設・設備の老朽化・狭隘化により、入院・外来患者に対する望ましい医療サービスの提供や県民の多様化する精神科医療のニーズに十分対応することが困難な状況となっていることから、県立友部病院の運営とあり方に検討が進められ、平成19年5月に報告書が示された。この報告書の提言を踏まえ、平成19年9月、県民の求める安心・安全な、質の高い精神科医療の実現のため、『新生友部病院』開院を目指し、平成21年8月に工事に着手した。

平成23年4月に「茨城県立こころの医療センター」と名称を変更。10月1日に新病院で診療開始。

平成27年4月に院内に睡眠障害の検査・治療及び臨床研究を行う「茨城県睡眠医療センター」を開設し、さらに、平成29年1月には、水戸市内に当院の附属医療機関として「県立睡眠医療クリニック」を開設。令和2年3月より新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止対策として、入院患者の外泊等及び家族等による面会の制限、他機関との連携の制限、外来診療における電話診療等に取り組んでいる。

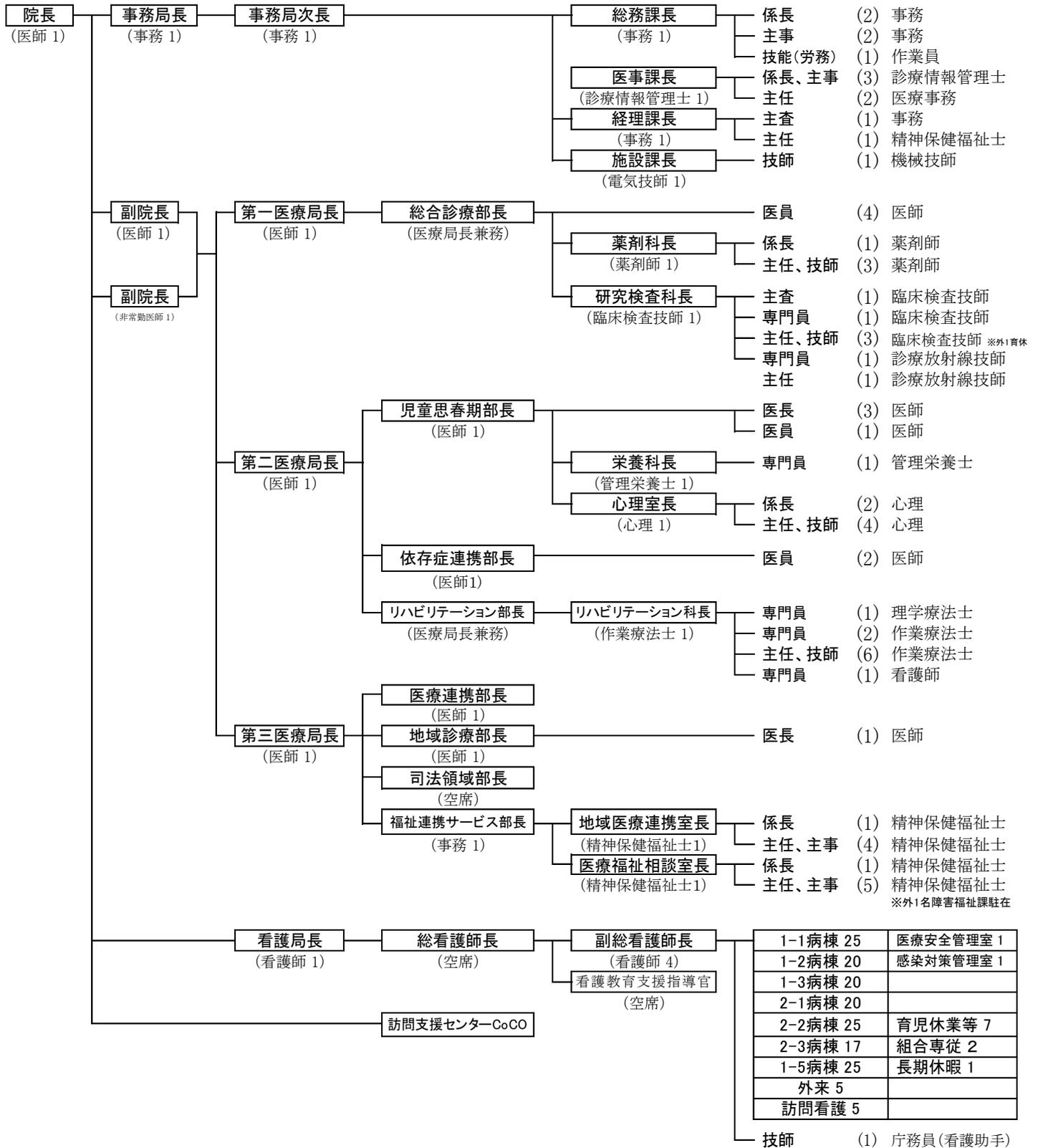
令和3年10月に「県立睡眠医療クリニック」は県としての一定の役割を果たしたことから閉院し、本院のみの診療とした。

病院開設以来の主な歩み

昭和25年 5月	茨城県立内原精神病院開設（病床数113床）
昭和32年10月	茨城県立内原病院と改称
昭和35年 6月	茨城県立友部病院設置・内原病院を友部病院内原分院に改組
昭和35年 8月	茨城県立友部病院開設（病床数180床）
昭和39年10月	茨城県立友部病院内原分院廃止
昭和42年 4月	日本精神神経学会より「呉秀三賞」受賞
昭和45年 9月	Ⅱ類基準看護承認（48年9月Ⅰ類に変更，53年1月特Ⅰ類に変更）
昭和50年12月	精神障害者社会復帰施設「デイケアセンター」竣工
昭和51年12月	（病床数611床）となる
昭和55年 7月	厚生省認可「精神科デイケア施設」として開所
昭和61年 3月	レクリエーションセンター竣工
昭和61年 8月	精神科作業療法の施設基準の承認
平成 元年10月	応急入院指定病院に指定
平成 5年 7月	「茨城県立友部病院将来構想」策定
平成 6年 3月	「茨城県立友部病院改築整備基本計画」策定
平成 6年 4月	プロジェクトチーム「社会生活支援室」を設置
平成 8年 7月	2病棟統合，1病棟を休棟・男女混合勤務（看護）を実施
平成 8年10月	精神科救急の実施（精神保健福祉法第24条適用）
平成10年 5月	2病棟で男女混合勤務を実施
平成11年 4月	2病棟統合，1病棟を休棟
平成12年 4月	適時適温給食を実施
平成12年10月	茨城県立友部病院開設50周年記念式典
平成14年 7月	児童・思春期専門病棟（つくし）開設（病床数589床）となる
平成16年 2月	（病床数586床）となる
平成16年 3月	精神科救急を平日夜間（9時まで受付）まで拡大
平成16年 4月	2病棟統合，1病棟を休棟 「社会復帰支援室」を設置
平成17年 3月	（病床数583床）となる
平成18年 3月	（病床数576床）となる
平成18年 4月	1病棟を休棟，（病床数573床）となる
	地方公営企業法の全部適用に伴い，保健福祉部から病院局の所管となる
平成19年 4月	1病棟を休棟，（病床数558床）となる
	精神保健福祉法第24条に基づく患者について，24時間365日受入れを開始
平成20年 2月	「県立友部病院整備基本計画」策定
平成20年 4月	（病床数547床）となる
平成20年 8月	精神科救急入院料算定開始
平成21年 5月	（病床数541床）となる
平成23年 4月	茨城県立こころの医療センターと改称
平成23年10月	新病院で診療を開始，（病床数537床）となる
	医療観察法病棟開棟・指定入院医療機関として処遇開始
平成24年 4月	東京建築賞「最優秀賞」受賞
平成25年 8月	全国自治体病院協議会精神科特別部会 第51回総会・研修会開催
平成26年 4月	医療福祉建築賞受賞
平成27年 4月	院内に「茨城県睡眠医療センター」を開設
平成27年12月	（病床数535床）となる
平成29年 1月	「県立睡眠医療クリニック」を水戸市内に開設
平成29年11月	（病床数525床）となる
令和 3年10月	「県立睡眠医療クリニック」を閉院

II 組織

令和7年4月1日現在



技師 (1) 庁務員(看護助手)

IV 概況

i こころの医療センター

1 敷地・建物

(1) 敷地面積

病院敷地 128,683.96 m²

(2) 建物面積

建 物		建築面積 (m ²)	延 (m ²)
新病院	新病院本館	8,641.67	14,820.69
	思春期デイケア棟	207.00	175.89
	医療観察法病棟	1,889.23	1,851.76
	計	10,737.90	16,848.34
旧病院	農耕作業棟	198.70	198.70
	温室	68.04	68.04
	デイケア施設	1,298.44	1,298.44
	1 病棟	845.62	845.62
	2 病棟	1,082.34	1,082.34
	3 病棟	738.72	1,646.28
	5 病棟	777.60	1,724.04
	サービス棟	989.08	989.08
	第2 サービス棟	205.20	205.20
	倉庫 (布団庫)	58.32	58.32
	プロパンボンベ舎	12.66	12.66
	貯水槽ポンプ舎	7.08	7.08
	オイルギアポンプ舎	4.30	4.30
	ポンプ舎	3.21	3.21
	変電室	38.88	38.88
	裁縫作業所	26.50	26.50
	動物舎	41.16	41.16
計	6,395.85	8,249.85	

2 診療科目

精神科 児童精神科 心療内科 神経内科

3 病床数

令和7年4月1日現在 許可525床 運用276床

病棟名		定床数	運用病床数	性別	開閉別	摘要
新 病 院	1-1	40(10)	40(10)	混合	閉鎖	救急医療
	1-2	45(8)	45(8)	混合	閉鎖	合併症・総合医療
	1-3	36(4)	36(4)	混合	閉鎖	児童思春期医療
	1-5	18(1)	18(1)	混合	閉鎖	医療観察法
	2-1	34(13)	34(13)	混合	閉鎖	急性期
	2-2	43(10)	43(10)	混合	閉鎖	救急医療
	2-3	60(6)	60(6)	混合	開放・閉鎖	社会復帰
	計	276(52)	276(52)			
旧 病 院	1	31(2)	0(0)			休棟
	2	48(2)	0(0)			休棟
	3-1	37(9)	0(0)			休棟
	3-2	44(0)	0(0)			休棟
	5-1	41(0)	0(0)			休棟
	5-2	48(2)	0(0)			休棟
	計	249(15)	0(0)			
合計		525(67)	276(52)			

* 定床数, 運用病床数のうち () 書きは保護室等強化した個室の数で内数である。

4 施設基準等 (令和7年8月1日現在)

精神科救急急性期医療入院料
精神科急性期治療病棟入院料1
児童・思春期精神科入院医療管理料
精神病棟入院基本料15対1
医療観察法入院料
救急医療管理加算
臨床研修病院入院診療加算
診療録管理体制加算2
看護配置加算
看護補助加算1
療養環境加算
精神科応急入院施設管理加算
精神病棟入院時医学管理加算
精神科地域移行実施加算
精神科身体合併症管理加算
医療安全対策加算1
感染対策向上加算2
精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
精神科急性期医師配置加算1, 2(ロ)
摂食障害入院医療管理加算
データ提出加算

依存症入院医療管理加算
後発医薬品使用体制加算1
認知療法・認知行動療法I
ニコチン依存症管理料
薬剤管理指導料
検体検査管理加算I、II
遠隔画像診断
MRI撮影(3.0テスラ以上)
CT撮影(16列以上)
児童思春期精神科専門管理加算
精神科作業療法
精神科ショート・ケア(大規模)
精神科デイ・ケア(大規模)
治療抵抗性統合失調症治療指導管理料
医療保護入院等診療料
こころの連携指導料II
外来・在宅ベースアップ評価料
入院ベースアップ評価料
夜間休日救急搬送医学管理料
児童思春期支援指導加算
入院時食事療養費(I)

5 患者の状況

(1) 外来患者

単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均患者数 (診察日数)
令和元年度	初診	97	93	109	125	104	105	112	85	104	106	97	85	1,222	276.9 (242日)
	再診	5,317	5,518	5,267	5,903	5,239	5,338	6,054	5,395	5,517	5,553	4,970	5,719	65,790	
	延患者数	5,414	5,611	5,376	6,028	5,343	5,443	6,166	5,480	5,621	5,659	5,067	5,804	67,012	
令和2年度	初診	110	87	132	101	87	113	103	89	97	100	97	120	1,236	272.1 (243日)
	再診	5,562	4,764	5,315	5,840	5,226	5,454	5,861	5,224	5,556	5,266	4,859	5,950	64,877	
	延患者数	5,672	4,851	5,447	5,941	5,313	5,567	5,964	5,313	5,653	5,366	4,956	6,070	66,113	
令和3年度	初診	144	164	200	161	136	128	131	112	114	129	152	155	1,726	281.0 (242日)
	再診	5,652	5,043	5,560	5,643	5,546	5,553	5,609	5,585	5,646	5,303	5,114	6,018	66,272	
	延患者数	5,796	5,207	5,760	5,804	5,682	5,681	5,740	5,697	5,760	5,432	5,266	6,173	67,998	
令和4年度	初診	138	132	135	132	134	70	103	107	132	112	119	132	1,446	280.0 (243日)
	再診	5,596	5,381	5,639	5,542	5,913	5,739	5,445	5,298	5,581	5,263	5,053	6,154	66,604	
	延患者数	5,734	5,513	5,774	5,674	6,047	5,809	5,548	5,405	5,703	5,375	5,172	6,286	68,050	
令和5年度	初診	163	161	160	119	139	120	136	124	133	115	104	119	1,593	281.6 (243日)
	再診	5,310	5,577	5,603	5,431	5,890	5,489	5,795	5,713	5,661	5,388	5,401	5,569	66,827	
	延患者数	5,473	5,738	5,763	5,550	6,029	5,609	5,931	5,837	5,794	5,503	5,505	5,688	68,420	
令和6年度	初診	117	125	146	193	126	112	116	113	114	91	94	105	1,452	288.7 (243日)
	再診	5,623	5,884	5,386	6,084	5,864	5,392	6,246	5,568	5,844	5,758	5,354	5,693	68,696	
	延患者数	5,740	6,009	5,532	6,277	5,990	5,504	6,362	5,681	5,958	5,849	5,448	5,798	70,148	

(2) 入院患者

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均患者数 (診察日数)
令和元年度	入院	61	66	77	81	60	64	69	76	68	77	64	78	841	216.5 (365日)
	退院	71	80	63	73	78	74	65	69	78	62	70	81	864	
	延患者数	6,857	6,779	6,504	7,231	6,929	6,254	6,340	6,243	6,516	6,556	6,406	6,628	79,243	
令和2年度	入院	71	69	66	90	84	84	80	73	62	74	62	87	902	215.5 (366日)
	退院	71	64	68	83	93	81	65	82	69	79	67	79	901	
	延患者数	6,314	6,591	6,425	6,856	6,738	6,472	6,782	6,765	6,727	6,457	5,721	6,813	78,661	
令和3年度	入院	65	66	85	74	77	52	75	57	69	43	50	66	779	200.7 (365日)
	退院	69	77	76	61	79	82	59	59	67	68	49	72	818	
	延患者数	6,276	6,544	6,275	6,654	6,751	5,925	6,060	6,079	6,239	5,953	4,910	5,592	73,258	
令和4年度	入院	69	66	73	59	48	66	63	51	61	56	61	60	733	186.3 (365日)
	退院	56	50	75	68	60	70	48	66	55	51	60	69	728	
	延患者数	5,445	5,867	6,197	6,077	5,655	5,395	5,757	5,558	5,499	5,747	5,158	5,640	67,995	
令和5年度	入院	69	68	69	62	82	67	58	57	63	60	60	58	773	196.8 (366日)
	退院	58	58	69	61	78	61	74	64	53	63	53	77	769	
	延患者数	5,466	6,098	6,169	6,241	6,417	6,154	6,124	5,654	5,899	6,202	5,633	5,975	72,032	
令和6年度	入院	57	77	58	57	61	60	68	51	53	59	56	60	717	190.1 (365日)
	退院	57	59	54	67	62	53	66	58	64	67	50	57	714	
	延患者数	5,333	5,877	5,986	6,225	5,980	5,748	6,279	5,844	5,875	5,712	4,998	5,517	69,374	

(3) 病棟別病床利用の状況

		1－1病棟	1－2病棟	1－3病棟	2－1病棟	2－2病棟	2－3病棟	小計	1－5病棟	合計
運用病床数 (各年度末) (床)	令和3年度	40	45	36	34	43	60	258	18	276
	令和4年度	40	45	36	34	43	60	258	18	276
	令和5年度	40	45	36	34	43	60	258	18	276
	令和6年度	40	45	36	34	43	60	258	18	276
延患者数 (人)	令和3年度	12,156	4,648	9,315	11,047	11,706	17,998	66,870	6,388	73,258
	令和4年度	10,700	4,905	7,450	10,918	11,744	16,103	61,820	6,175	67,995
	令和5年度	11,736	7,604	8,428	10,910	12,735	14,695	66,108	5,924	72,032
	令和6年度	12,043	10,662	7,723	10,703	11,890	10,258	63,279	6,041	69,320
1日平均 患者数 (人)	令和3年度	33.3	12.7	25.5	30.3	32.1	49.3	183.2	17.5	200.7
	令和4年度	29.3	13.5	20.4	29.9	32.2	44.1	169.4	16.9	186.3
	令和5年度	32.1	20.8	23.0	29.8	34.8	40.1	180.6	16.2	196.8
	令和6年度	33.0	29.2	21.1	29.3	32.6	28.1	173.3	16.6	189.9
病床 利用率 (対運用病床) (%)	令和3年度	83.2	28.1	72.8	86.6	74.5	82.2	71.0	97.2	72.7
	令和4年度	73.3	29.9	56.7	87.9	74.9	73.5	65.7	94.0	67.5
	令和5年度	80.1	46.2	64.0	87.7	80.9	66.9	70.0	89.9	71.3
	令和6年度	82.5	64.9	58.7	86.2	75.7	46.8	67.2	91.9	68.8
新入院 患者数 (人)	令和3年度	202	41	101	115	251	61	771	8	779
	令和4年度	182	42	111	136	212	45	728	5	733
	令和5年度	212	20	116	150	222	47	767	6	773
	令和6年度	199	27	95	148	192	51	712	5	717
退院 患者数 (人)	令和3年度	191	41	136	118	231	95	812	6	818
	令和4年度	154	49	130	134	184	69	720	8	728
	令和5年度	184	32	133	144	191	81	765	4	769
	令和6年度	173	44	105	143	174	69	708	6	714
平均 在院日数 (日)	令和3年度	60.9	156.1	78.7	93.0	47.5	232.0	84.4	1211.3	91.7
	令和4年度	62.7	106.7	60.7	79.8	58.3	281.2	84.3	948.7	92.0
	令和5年度	58.3	291.2	66.6	73.2	60.7	228.3	85.3	1184	92.4
	令和6年度	66.7	388.0	82.2	74.4	65.3	182.4	88.4	409.4	96.8

(4) 在院患者の疾病区分

単位：人

区分 年度	統合失調症	気分障害	器質性精神障害	精神神経症	その他精神病	てんかん	中毒性精神障害	精神遅滞	その他	精神病質	計
令和元年度末	114	33	6	15	24	1	3	9	1	0	206
令和2年度末	117	28	4	4	31	2	10	3	8	0	207
令和3年度末	101	26	4	7	17	0	6	6	1	0	168
令和4年度末	111	26	5	3	17	0	7	3	0	1	173
令和5年度末	113	21	3	9	22	0	3	6	0	0	177
令和6年度末	105	25	3	8	28	0	5	4	2	0	180

(5) 在院患者の年齢構成

単位：人

区分 年度	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上	計
令和元年度末	31	21	27	33	40	28	26	206
令和2年度末	30	24	30	39	35	24	25	207
令和3年度末	22	22	25	28	36	18	17	168
令和4年度末	20	18	23	21	40	34	17	173
令和5年度末	27	22	23	20	30	28	27	177
令和6年度末	22	29	19	26	30	38	16	180

(6) 在院患者の費用区分

単位：人

区分 年度	措置	国民健康保険	社会保険	老保 後期高齢者	生活保護	医療観察法	その他	計
令和元年度末	6	88	57	15	19	16	5	206
令和2年度末	4	93	64	8	22	16	0	207
令和3年度末	4	74	50	5	17	18	0	168
令和4年度末	10	70	49	6	22	15	1	173
令和5年度末	6	70	51	18	14	17	1	177
令和6年度末	5	67	59	11	22	16	0	180

※医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

(7) 在院患者の在院期間

単位：人

区分 年度	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	計
令和元年度末	139	42	17	8	206
令和2年度末	149	34	17	7	207
令和3年度末	115	36	10	7	168
令和4年度末	119	35	12	7	173
令和5年度末	128	33	10	6	177
令和6年度末	127	38	7	8	180

(8) 在院患者の入院形態別

単位：人

区分 年度	措置入院	医療保護 入 院	応急入院	任意入院	医療 観察法	その他	計
令和元年度末	6	147	0	34	16	3	206
令和2年度末	4	150	0	37	16	0	207
令和3年度末	4	116	0	30	18	0	168
令和4年度末	10	120	0	27	15	1	173
令和5年度末	6	115	0	38	17	1	177
令和6年度末	5	117	0	41	16	1	180

※医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

(9) 新規入院患者の入院形態

単位：人

区分 年度	措置入院	医療保護 入 院	応急入院	任意入院	医療 観察法	その他	計
令和元年度	40	420	11	363	3	4	841
令和2年度	45	554	9	285	7	2	902
令和3年度	40	489	5	235	8	2	779
令和4年度	66	420	4	233	5	5	733
令和5年度	43	411	6	305	6	2	773
令和6年度	53	333	6	316	6	3	717

※医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

(10) 病棟別新規入院患者の入院形態別患者数（令和6年度）

単位：人

区分 病棟	措置入院	医療保護 入 院	応急入院	任意入院	医 療 観 察 法	その他	計
1－1病棟	24	96	5	72	0	2	199
1－2病棟	0	12	0	15	0	0	27
1－3病棟	0	59	1	35	0	0	95
2－1病棟	0	55	0	93	0	0	148
2－2病棟	29	105	0	56	1	1	192
2－3病棟	0	6	0	45	0	0	51
小 計	53	333	6	316	1	3	712
1－5病棟	0	0	0	0	5	0	5
合 計	53	333	6	316	6	3	717

※医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

(11) 退院患者の在院期間

単位：人

区分 年度	3ヶ月未満	3ヶ月以上 6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上	計
令和元年度	689	91	47	37	864
令和2年度	736	102	30	33	901
令和3年度	661	94	28	35	818
令和4年度	609	71	24	24	728
令和5年度	617	100	23	29	769
令和6年度	594	64	32	24	714

(12) 退院患者の転帰別状況

単位：人

区分 年度	転 帰						退院先				計
	寛解	軽快	悪化	未治 不変	死亡	その他	自宅	施設	転院	その他	
令和元年度	26	617	0	217	4	0	690	114	54	6	864
令和2年度	0	746	0	151	4	0	672	142	83	4	901
令和3年度	2	702	1	108	5	0	613	140	63	2	818
令和4年度	1	664	0	60	3	0	527	141	58	2	728
令和5年度	0	729	0	38	2	0	580	118	69	2	769
令和6年度	0	672	0	39	3	0	512	140	61	1	714

(13) 診療圏

① 在院患者 (令和7年3月31日現在)

市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %
水戸市	49	27.2	鹿嶋市	6	3.3	東茨城郡	10	5.5
日立市	6	3.3	潮来市	0	0.0	那珂郡	3	1.6
土浦市	4	2.2	守谷市	4	2.2	久慈郡	1	0.6
古河市	2	1.2	常陸大宮市	3	1.6	稲敷郡	0	0.0
石岡市	6	3.3	那珂市	7	3.9	結城郡	0	0.0
結城市	1	0.6	筑西市	3	1.6	猿島郡	1	0.6
龍ヶ崎市	2	1.2	坂東市	2	1.2	北相馬郡	1	0.6
下妻市	1	0.6	稲敷市	0	0.0	郡計	16	8.9
常総市	1	0.6	かすみがうら市	1	0.6	県内合計		
常陸太田市	5	2.8	桜川市	2	1.2			
高萩市	0	0.0	神栖市	2	1.2	東京都	0	0.0
北茨城市	3	1.6	行方市	0	0.0	その他県	4	2.2
笠間市	23	12.8	銚田市	1	0.6	県外合計	4	2.2
取手市	1	0.6	つくばみらい市	0	0.0			
牛久市	4	2.2	小美玉市	3	1.6			
つくば市	6	3.3	市計	160	88.9			
ひたちなか市	12	6.7				総計	180	100

② 外来患者 (令和6年度)

市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %
水戸市	15,798	22.5	鹿嶋市	875	1.2	東茨城郡	3,310	4.7
日立市	2,731	3.9	潮来市	414	0.6	那珂郡	958	1.4
土浦市	1,353	1.9	守谷市	334	0.5	久慈郡	266	0.4
古河市	268	0.4	常陸大宮市	1,094	1.6	稲敷郡	619	0.9
石岡市	3,453	4.9	那珂市	1,615	2.3	結城郡	165	0.2
結城市	532	0.8	筑西市	1,218	1.7	猿島郡	194	0.3
龍ヶ崎市	408	0.6	坂東市	267	0.4	北相馬郡	130	0.2
下妻市	343	0.5	稲敷市	230	0.3	郡計	5,642	8.1
常総市	358	0.5	かすみがうら市	588	0.8	県内合計	68,665	97.9
常陸太田市	1,366	1.9	桜川市	1,371	2.0			
高萩市	453	0.6	神栖市	1,099	1.6	東京都	258	0.4
北茨城市	542	0.8	行方市	1,018	1.5	その他県	1,225	1.7
笠間市	12,965	18.5	銚田市	1,830	2.6	県外合計	1,483	2.1
取手市	371	0.5	つくばみらい市	238	0.3			
牛久市	505	0.7	小美玉市	3,022	4.3			
つくば市	1,862	2.7	市計	63,023	89.8			
ひたちなか市	4,502	6.4				総計	70,148	100

6 専門医療

(1) 精神科救急医療

	精神保健福祉法警察官通報					左記以外の申請・通報等							一般救急				計									
	診 察	入 院	内訳 (入院形態)			休日 夜間 (再掲)		診 察	入 院	内訳 (入院形態)			休日 夜間 (再掲)		診 察	入 院	休日 夜間 (再掲)		診 察	入 院	休日 夜間 (再掲)					
			措置 (緊急措置)	医 療 保 護	そ の 他	診 察	入 院			措置 (緊急措置)	医 療 保 護	そ の 他	診 察	入 院			診 察	入 院			診 察	入 院	診 察	入 院	診 察	入 院
令和元年度	36	33	30	3	0	31	28	16	11	10	1	0	0	0	927	424	290	124	979	468	321	152				
令和2年度	53	41	37	4	0	43	34	12	10	8	2	0	1	1	960	504	357	154	1,025	555	401	189				
令和3年度	55	43	35	8	0	46	37	10	6	5	1	0	2	1	829	423	281	135	894	472	329	173				
令和4年度	67	66	58	7	1	57	51	9	8	7	1	0	3	3	564	289	254	115	640	363	314	169				
令和5年度	63	59	50	9	0	57	49	7	4	4	0	0	2	1	762	284	269	107	832	338	328	157				
令和6年度	68	52	42	9	1	62	48	7	6	4	2	0	1	1	622	245	154	69	697	303	217	118				

※「一般救急」は、患者家族・市町村・保健所等からの相談等による救急受診の件数である。

(2) 薬物等中毒性精神障害治療

入院

年 度	受入れ実績
令和元年度	81人
令和2年度	70人
令和3年度	57人
令和4年度	32人
令和5年度	69人
令和6年度	52人

外来

年 度	受診(実人員)
令和元年度	343人
令和2年度	374人
令和3年度	371人
令和4年度	354人
令和5年度	378人
令和6年度	358人

(3) 児童・思春期精神科医療

① 外来診療 当院における初診患者数と20歳未満の初診患者数の年度別推移

年度	外来初診者数 (A)	20歳未満の初診患者	
		患者者数(B)	割合(B/A)
令和元年度	1,222人	340人	27.8%
令和2年度	1,236人	356人	28.8%
令和3年度	1,726人	494人	28.6%
令和4年度	1,446人	430人	29.7%
令和5年度	1,593人	473人	29.6%
令和6年度	1,452人	463人	31.9%

② 20歳未満の初診患者の年齢構成

年度	12歳以下 (A)	13～15歳 (B)	16～18歳	19歳	計 (C)	15歳以下の 占める割合 (A+B)/C
令和元年度	130人	113人	77人	20人	340人	71.4%
令和2年度	115人	118人	95人	28人	356人	65.4%
令和3年度	130人	184人	142人	38人	494人	63.6%
令和4年度	96人	154人	149人	31人	430人	58.1%
令和5年度	132人	188人	128人	25人	473人	67.6%
令和6年度	149人	172人	112人	30人	463人	69.3%

③ 児童・思春期外来の初診患者数と延べ患者数の年度別推移

年度	初診患者数	児童思春期 外来受診者数
令和元年度	320人	7,624人
令和2年度	328人	7,902人
令和3年度	318人	7,954人
令和4年度	323人	8,172人
令和5年度	417人	8,175人
令和6年度	406人	8,358人

④ 入院患者の動向（児童・思春期専門病棟の入院患者の年度別推移）

年度	12歳以下 (A)	13～15歳 (B)	16～18歳	19歳	20歳以上	計 (C)	15歳以下の 占める割合 (A+B)/C
令和元年度	21人	29人	26人	1人	0人	77人	64.9%
令和2年度	24人	55人	56人	8人	0人	143人	55.2%
令和3年度	17人	53人	30人	1人	0人	101人	69.3%
令和4年度	23人	53人	29人	6人	0人	111人	68.4%
令和5年度	26人	51人	35人	4人	0人	116人	66.3%
令和6年度	19人	37人	42人	2人	0人	100人	56.0%

(4) 医療観察法に基づく入院及び指定通院患者数

年 度	鑑定入院 患者数	入院処遇者実数	通院処遇者実数
令和元年度	4人	19人	1人
令和2年度	2人	23人	0人
令和3年度	3人	24人	0人
令和4年度	5人	23人	1人
令和5年度	4人	24人	1人
令和6年度	5人	22人	2人

7 各部門の実施状況

(1) 看護局

① 公開講座開催実績

回数	開催年月	テ マ	講 師
第1回	平成23年	6月 「病は夜つくれる」 ～睡眠時無呼吸症候群と心身の健康～	こころの医療センター 病院長 土井永史
第2回		7月 「オレ、クスリやめたいんだ…」 ～薬物依存症の入門からリハビリまで～	こころの医療センター 副院長 中村恵・医療局長 妹尾栄一
第3回		8月 「傷つく子どもたち助けて大人たち」 ～児童思春期精神科医療を訪れる子どもたち～	こころの医療センター 医療局長 清水文雄
第4回		9月 「幸せの黄色い救急車」 ～精神科に入院が必要なとき～	こころの医療センター 医長 白鳥裕貴
第5回		10月 「うちに帰りたいんだ…退院できるかなあ」 ～慢性期統合失調症のリハビリと地域ケアについて～	こころの医療センター 医療局長 影山治雄
第6回		11月 「これってホントに認知症？」 ～認知症の鑑別診断～	こころの医療センター 医療局長 佐藤雅士
第7回	平成24年	1月 「いいMRI入りました」 ～最先端の脳画像検査～	こころの医療センター 医師 石川和宏・医師 田村昌士
第8回		2月 「うつと自殺」 ～若者の自殺はどのようにして防げるのか～	筑波大学大学院講師 太刀川弘和 こころの医療センター 医師 井口俊大
特別公開講座		3月 「うつについて」	こころの医療センター 医師 井口俊大
第9回		5月 「神経を癒す電磁気力」 ～電磁気刺激療法の新しい展開～	こころの医療センター 病院長 土井永史
第10回		6月 「シネマ処方箋」 ～精神科医がすすめる、こころの病を描いた映画～	筑波大学 医学医療系教授 高橋祥友
第11回		7月 「児童・思春期精神科の入院」 ～一般精神科入院医療との違い～	こころの医療センター 医療局長 清水文雄
第12回		8月 「思春期の摂食障害」 ～エビデンスにもとづくアプローチ～	こころの医療センター 副院長 中村恵・臨床心理士 稲沼邦夫
第13回		9月 「こころのサインに気づく・つなげる」 ～自殺予防の基礎知識～	筑波大学 医学医療系教授 高橋祥友
第14回		10月 「たまにはマジメな薬のお話でも…」 ～抗精神病薬の神経保護作用について～	こころの医療センター 医師 石川和宏
第15回		11月 「認知症ってどんな病気？ 予防できるの？」	筑波大学 医学医療系臨床医学域精神医学教授 朝田隆
第16回	平成25年	1月 「最近の若者のメンタルヘルス」 ～自殺予防の観点も踏まえて～	筑波大学保健管理センター医師 太刀川弘和
第17回		1月 「薬物依存症の理解と対策」 ～薬物専門外来の役割について～	こころの医療センター 副院長 中村恵
第18回		4月 「光でみる脳と心」 ～思考と感情のしくみを探る～	東京都医学総合研究所 ヒト統合脳機能プロジェクト 星 祥子
第19回		6月 「うつ病に気付く・うつ病を治す」 ～光トポグラフィ検査にも触れて～	こころの医療センター 医療技術部長 大嶋明彦
特別講座		10月 「痛みにおけるこころと身体の問題」 ～痛みに対する身体的・心理的アプローチ～	東京都保健医療公社荏原病院
第20回		10月 「身体科と精神科の連携」	県立中央病院 総合診療科医長 関義元 県立中央病院 副院長 鈴木孝之
第21回	平成26年	3月 「精神医学的にみた夏目漱石」 ～病みながら生きる者への畏敬～	筑波大学大学院 人間総合科学研究科教授 高橋正雄
第22回		3月 「パーソナリティ障害の理解と対応・治療」	帝京大学附属病院 精神科病院教授 林直樹
第23回		6月 「やる気が起きない…」 「不安もいっぱい…」 適応障害の正しい知識と対応方法	こころの医療センター 医長 山形晃彦
第24回		8月 「発達障害と医療」 ～本人の困っている思いと周囲はどのように付き合うのか～	こころの医療センター 医長 藤田俊之
市民公開講座	平成27年	3月 「睡眠・体内時計と健康づくり」	日本大学医学部 教授 内山真
市民公開講座		3月 「病は夜つくれる」 ～睡眠呼吸障害と歯科・内科・薬科連携～	筑波大学睡眠医学講座 教授 佐藤誠
市民公開講座		3月 「睡眠・覚醒の謎に挑む」 ～神経科学研究の最前線～	筑波大学国際統合睡眠科学研究機構 教授 柳沢正史
第25回		6月 「大人の発達障害」 ～本人の困っている思いと周囲はどう関われるのか～	こころの医療センター副院長 堀孝文
睡眠フォーラム in水戸		8月 「不眠時処方方を一生に一度くらい考えてみる」	スタンフォード大学精神医学科 睡眠医学部門 クリニカルインストラクター 河合真
第26回		9月 「大人の発達障害」～本人の困っている思いと周囲はどう関われるのか～	こころの医療センター副院長 堀孝文
第27回	平成28年	6月 「職場のメンタルヘルス」	こころの医療センター 医長 山形晃彦
第28回		10月 「災害時のこころの支援」	筑波大学 医学医療系准教授 こころの医療センター 地域・災害支援部長 高橋晶
第29回	平成29年	9月 「薬物・アルコール依存について」	こころの医療センター 副院長 妹尾栄一
第30回	平成30年	3月 「解離性障害について」	こころの医療センター 医師 日向 勝之
第31回		9月 「境界性パーソナリティ障害について」	こころの医療センター 医師 水谷 洋介
第32回	平成31年	2月 「シネマ処方箋～映画にみるこころの病～」	筑波大学 医療医学系 教授 災害・地域精神医学 高橋 祥友
第33回		5月 「ねむりの問題について考えましょう」	こころの医療センター 医師 神林 崇 こころの医療センター 医師 近藤 英明
第34回		2月 「依存症について」	こころの医療センター 医師 小松崎 智恵
第35回	令和4年	6月 「発達障害について」	こころの医療センター 医師 藤田 俊之
第36回		2月 「ひきこもりの実情と対応の仕方について」	こころの医療センター 医師 小川 貴史
第37回	令和5年	3月 「摂食障害について」	こころの医療センター 医師 児玉 貴久子
第38回		5月 「コロナ罹患後のメンタルケアについて」	こころの医療センター 医師 高橋 晶
第37回	令和6年度	8月 「睡眠の疾患(ナルコレプシー)について」	こころの医療センター 医師 神林 崇
第38回		3月 「ふつうってなんだろう？」	こころの医療センター 専門看護師 田端 一成

(2) リハビリテーション部

①デイケア

体制：看護師2名（うち非常勤1名）、公認心理師1名、作業療法士1名
 対象：外来通院中の患者、退院前の患者
 実施内容：デイケア及びショートケア（月～金曜）
 運動プログラム・心理教育プログラム
 外来講師プログラム、作業プログラム
 LST（自閉スペクトラム症の方のための生活対人技能トレーニング）
 メタ認知トレーニング・疾病教育
 WRAP等 病院行事参加
 その他：訪問看護部門と連携し情報共有をしている
 施設見学（就労支援施設等）

デイケア参加人数

単位：人

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
デイケア	2,097	1,877	2,272
ショートケア	1,544	1,393	1,692
入院	9	27	25

プログラム実施状況

	手工芸	394	352	374
	軽スポーツ	2,696	2,479	3,159
	料理	-	103	83
	園芸	107	85	26
	創作活動	597	435	607
	自主活動	567	508	687
	季節イベント（含実行委員会）	130	251	297
	ひだまり通信	87	63	55
	七宝焼	80	68	69
	施設見学	-	-	13
教育プログラム実施状況	LST	39	12	37
	疾病教育	97	51	115
	メタ認知トレーニング	172	102	69
	WRAP	127	84	96
	ダイエットプログラム	-	-	-
	SCIT（R4.2月から）	81	34	13
	SST	57	8	55
	就労準備プログラム	221	89	47
	アンガーマネジメント	4	4	33
	アサーション	67	57	49
	健康プロジェクト（R6.10月～）	-	-	133
	クライシスプラン	-	-	51
	TRY&GO	-	-	84
グ師外 ラプ来 ムロ講	絵手紙	25	32	24
	ヨガ	-	-	408

訪問リハビリ

退院前後訪問	-	10	1
--------	---	----	---

注：プログラム実施状況では、すべてのプログラムの実施件数を記載したため、実際の参加人数とは異なる。

②作業療法

体制：作業療法士8名

対象：入院・通院の区別なく、急性期から慢性期まで対応。

実施内容

病棟内作業療法：パラレルOT、軽スポーツ、ヨガ

病棟外作業療法：ふるみえ（軽スポーツ）

手工芸（自分の好きな作業をゆったりとしたスペースで行う）

アトリエ（救急病棟の患者のみ対象、刺激の少ない環境で手芸などを行う）

再発予防プログラム：クライシスプラン、心理教育、アサーショントレーニング、アンガーコントロール、SST、コグトレ（認知機能強化トレーニング）、ストレス対処プログラム

多職種協働プログラム：心理教育

SMARPP（スマープ：物質使用障害治療プログラム）

摂食障害家族教室

訪問リハビリ：退院前後訪問（病棟看護師とともに入院中に行ったプログラムの経過について確認、相談を行う）

訪問看護（訪問看護と連携し、患者の生活場面での評価、プログラムを行う）

作業療法の実施状況

単位：人

プログラム	年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		外来	入院	外来	入院	外来	入院
ぷるみえ		-	1,946	-	2,518	-	2,285
手工芸		-	469	-	764	-	825
アトリエ		-	240	-	333	-	340
思春期		-	355	-	434	-	359
薬物回復プログラム 〈スマップ〉	269 アルコール ※H25.6から	175	58	211	104	326	96
心理教育〈つばさ〉		21	4	43	9	29	16
コンカレントプログラム	母親グループ	33	-	14	-	-	-
	子どもグループ	35	-	13	-	-	-
1 - 1 病棟			1,902		1,777		1,938
1 - 2 病棟			286		548		1,341
2 - 1 病棟			884		921		1,474
2 - 2 病棟			1,942		1,991		2,029
2 - 3 病棟			1,200		1,055		1,417
個別			126		-		254
合計		264	9,412	281	10,454	355	12,374

注：請求件数外も含む。

訪問リハビリ

退院前後訪問	-	60	45
訪問看護	-	24	115

③理学療法

体制：理学療法士1名

対象：廃用や疾患により身体機能が低下した入院中の患者

実施内容：身体機能に合わせて個別に対応し、必要に応じて運動メニューの作成を行っている。また、各病棟において実施している。

理学療法の実施状況

単位：人

病棟 \ 年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1-1 病棟	114	95	73
1-2 病棟	119	202	193
1-3 病棟	27	4	11
1-5 病棟	14	20	20
2-1 病棟	81	79	109
2-2 病棟	140	71	166
2-3 病棟	312	266	164
合計	807	737	736

その他：

リハビリテーション科医師への診察依頼（原則月2回）があった場合に同行している。

補装具の相談・検討を行う場合には、必要に応じてリハビリテーション科医師・義肢装具士と連携する。

必要に応じて病棟と連携し、退院前後訪問を行う。

(3) 総合診療部

①心理室

心理療法の状況

区 分	件 数				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
個人心理療法	803	874	818	827	864
集団心理療法	583	706	629	476	542

心理検査の実施状況

種 別		件数		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	WAIS-IV (成人知能検査)	154	150	164
	WISC-IV (児童知能検査)	42	10	-
	WISC-V	14	73	101
	田中ビネー知能検査	2	-	2
	JART	2	4	2
パ ー ソ ナ リ テ ィ 検 査	ロールシャッハテスト	31	28	15
	MMP I	-	-	-
	SCT (文章完成法)	52	36	74
	描画テスト	31	36	33
	PF study	107	86	104
	エゴグラム	3	4	11
	小児ANエゴグラム	4	1	3
	プロジェクト・エゴグラム	-	-	-
矢田部ギルフォード性格検査	3	6	3	
認 知 機 能 検 査 そ の 他 の 心 理 検 査	WMS-R (ウェクスラー記憶検査)	-	-	-
	DN-CAS	-	-	-
	前頭葉機能検査 (FAB)	10	4	6
	コグニスタット認知機能検査	-	-	-
	記銘力検査	-	-	-
	クレペリン精神作業検査	-	-	-
	ベンダーゲシュタルト検査	-	-	-
	ベントン視覚記銘力検査	1	1	-
	遂行機能障害群の行動評価 (BAD S)	3	2	-
	TSCC	-	-	-
	Conners 3	35	67	66
	CAARS	56	79	67
	PARS-TR	6	4	4
	FDT	-	-	3
	小学生の読み書きスクリーニング検査	3	3	4
	AQ	90	117	146
	MMSE-J	2	7	8
	長谷川式認知症スケール	2	7	6
	リバーミード行動記憶検査	1	1	-
	トレイルメイキングテスト	4	2	-
その他	11	9	24	
合 計		669	737	846

心理教育プログラム

他職種や他機関と協同し実施。

種 別	人数		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
統合失調症心理教育（本人）	27	53	44
統合失調症家族心理教育	63	98	84
発達障害家族心理教育	31	38	27

集団プログラム

多職種で実施。

種 別	人数		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
コンカレントプログラム母親グループ	34	12	-
コンカレントプログラム子どもグループ	36	13	-
発達障害小学生プログラム	0	0	-
薬物・アルコール依存治療グループ	215	301	408

②栄養科

給食実績

年 度	延べ 給食数	内 訳					栄養指導	
		患者食		職員食	ダイ ケア	その他	個人	集団
		一般食	治療食					
令和4年度	206,118	129,274	66,644	3,728	2,092	4,380	564	955
令和5年度	214,178	139,434	64,563	3,928	1,861	4,392	420	927
令和6年度	206,527	135,803	59,957	4,149	2,238	4,380	322	844

③薬剤科

調剤実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外来院内処方せん枚数	1,436 枚	1,352 枚	1,202 枚
入院処方せん枚数（内服・外用）	17,154 枚	19,027 枚	19,178 枚
入院注射せん枚数	2,213 件	3,088 件	3,196 件
入院時面談件数	99 件	212 件	187 件
服薬指導件数	922 件	1,010 件	1,307 件
服薬指導請求件数	481 件	475 件	460 件
持参薬確認件数	890 件	1,247 件	1,069 件
SST（集団服薬指導）担当回数	25 回	39 回	37 回
薬物家族教室，心理教育担当回数	6 回	5 回	11 回
外来院外処方せん枚数	55,835 枚	56,231 枚	55,755 枚
院外処方せん発行率	97.5%	97.7%	97.9%

④研究検査科
臨床検査の実施件数（令和6年度）

臨床検査・X線撮影検査の状況

(1) 臨床検査の状況

区分	種 別		件 数	区分	種 別		件 数
生化学	肝機能検査		31,299	細菌	嫌気性菌検査		63
	腎機能検査		9,157		真菌検査		33
	脂質検査		7,098		その他		10
	内分泌検査		4,623	血清	梅毒検査		1,336
	血中薬物検査		1,916		肝炎ウイルス検査		1,374
	血液ガス分析		5		血液型		26
	その他		26,410		クロスマッチ		0
血液	血球検査		33,135	その他		2,421	
	血液凝固		426	生理	心電図		856
	その他		29		脳波		402
尿検査		12,027	肺機能検査		—		
便検査		21	超音波		54		
その他		39	終夜睡眠ポリグラフィー		10		
細菌	一般細菌	塗抹	55	病理	その他		262
		培養	124		細胞診		4
		同定	70		染色体		0
		感受性検査	70		その他		0
	結核菌	塗抹	2	遺伝子	COVID-19PCR		216
		培養	2				
		同定	0				
		感受性検査	0				
			計		133,575		

X線検査の状況

種 別	件数
一般撮影	1,071
CT 撮影	218
MRI 撮影	906
計	2,195

(4) 福祉連携サービス部

医療福祉相談室と地域医療連携室が協働して業務を実施している。
患者や家族・地域の関係機関からの相談や依頼に応じるとともに、地域の隠れたニーズの把握に努めている。

- 1 ケースワークに関すること
 - ・入院治療に関する福祉相談、ケースワーク
 - ・外来治療、地域生活に関する福祉相談、ケースワーク
 - ・カンファレンスの積極的な開催
- 2 入院から退院までの切れ目ない連携
 - ・地域からの相談窓口としての役割
 - ・県立中央病院（同一市内の総合病院）との救急連携
 - ・入院患者の退院支援

① 医療福祉相談室

精神科ネットワーク事業に関すること（県内の医療連携づくり）

1 精神科ネットワーク実務者会議

適切な精神科医療を提供できるよう県内各医療機関と連携のために、具体的な連携方法について情報交換・検討を行う

第28回 令和6年6月13日（木） テーマ：原点回帰～受診調整や医療機関との連携で困っていることはありませんか～

第29回 令和6年11月7日（木） テーマ：過量服薬ケースの円滑な連携について考える

2 こころとからだの事例検討会

救急隊から現場で苦慮した事例をもらい、身体科医療機関・精神科医療機関、救急隊、警察、行政などそれぞれの立場から意見交換を行う

第21回 令和6年8月2日（金）

第22回 令和7年2月14日（金）

3 精神科ネットワーク連携医療機関一覧 改訂

② 地域医療連携室

1 アウトリーチ事業に関すること（地域のニーズの掘り起こしと課題解決活動）

・こころの医療連携会議

石岡市、笠間市、銚田市、茨城町、大洗町、小美玉市の各市町と年2～3回ずつケースカンファレンス、勉強会、テーマを定めた協議・検討等を実施している。小美玉市においては、令和元年度より市主催として開催している。

自治体における精神障がい者にも対応した地域包括支援システムを円滑に促進するため支援した。

・多職種訪問事業 延べ 115件

うち往診 23件

往診のうち6件が入院、1件が通院につながった。

「ひきこもり自立支援アウトリーチ事業」を笠間市と協働し、5ケース・57回訪問を実施した。

2 啓発活動に関すること

・講演会、研修会への講師派遣 21団体

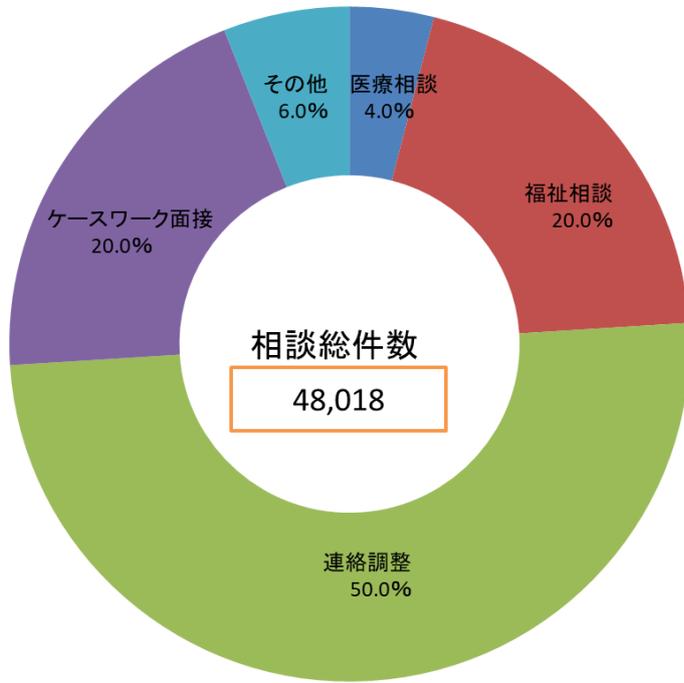
3 ボランティアの育成と協働事業の開催

・毎月ボランティア定例会を開催し、ボランティアの育成・支援を実施する。

・ボランティアとの協働による院内イベント開催時の支援。

・玄関案内（随時）等への支援。参考資料

令和6年度 PSW業務実績内容



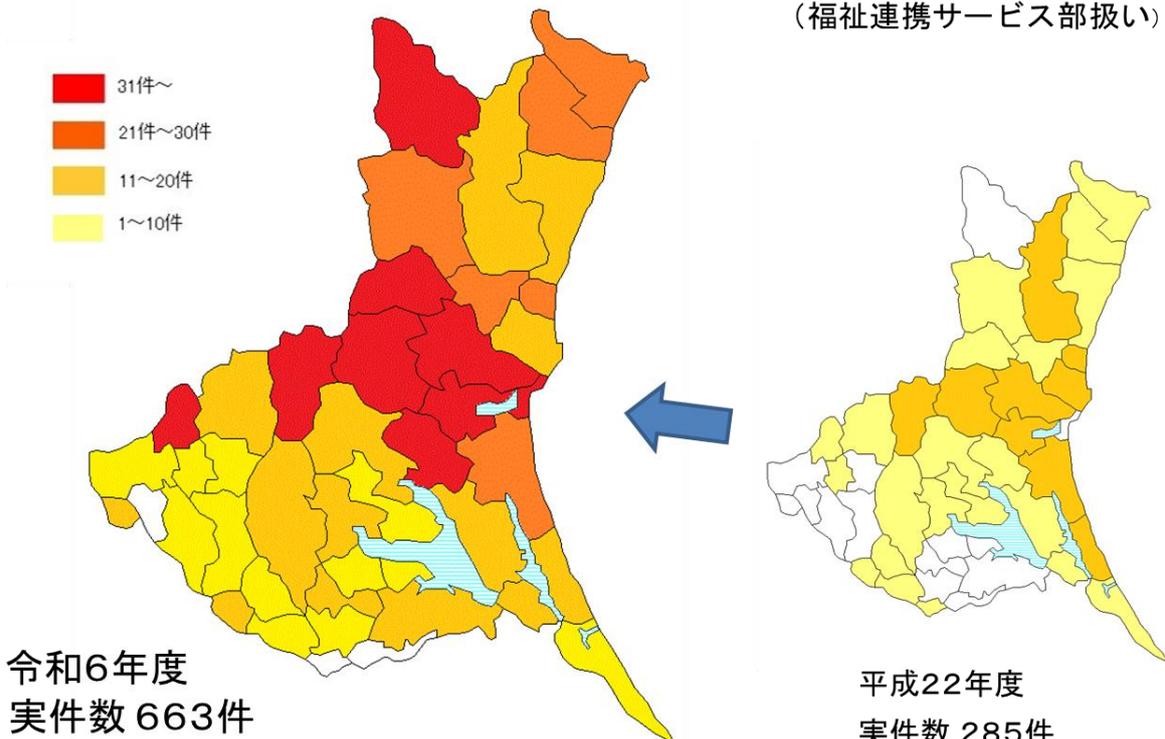
- 医療相談
行政救急対応・受診相談(外来, 入院)・転入院相談・転院相談・入退院援助 など
- 福祉相談
医療費・生活保護・施設通入所・介護保険・障害年金・福祉サービス・心理教育・就労相談・医観法業務 など
- 連絡調整
関係機関や家族との連絡・電話相談・カンファレンス など
- ケースワーク面接
病棟(本人・家族)面談・家庭訪問・病棟行事参加 要望やクレーム等への対応 など
- その他
未収金対応・資料作成

(参考) 年度別 総相談件数

令和元年度	38,359件
令和2年度	42,715件
令和3年度	49,734件
令和4年度	49,332件
令和5年度	41,486件
令和6年度	48,018件

市町村別 受診相談件数(人口10万人あたり)の推移

(福祉連携サービス部扱い)



(5) 訪問看護

- ① 開始日：平成6年4月1日
- ② 体制：看護師9名（再任用1名、会計年度3名）、精神保健福祉士2名、作業療法士1名、専用車4台
- ③ 目的：利用者に安心感を与え、周囲の人々とのつながりを持ちながら、可能な限り居宅で生活できるように支え、また、利用者自身が自らの力で問題解決をしながら生活を営めるように、様々な側面を支援する。
- ④ 支援内容：
 - 異常の早期発見・再燃の予防
症状の観察・副作用の観察・服薬管理・受診行動（社会資源の活用）への援助・対処行動の指導・合併症のコントロール・身体状態の観察と指導など
 - 日常生活行動の援助：生活上の困り事への援助と調整、生活スキルの維持・向上支援
 - 対人関係調整
 - 健康の維持・向上の援助
 - 利用者の状態や困り事、社会資源の活用に関する多職種との連携
医師・外来看護師・病棟看護師・ケースワーカー・デイケアスタッフ・作業療法スタッフ・市町村職員（福祉関係・保健関係）・地域活動支援センターなどの社会資源のスタッフなど
- ④ 訪問件数の推移

年 度	訪問件数	うち複数名による	年間対象者数 (年度末日)
		訪問件数	
令和元年度	3,113 件	1,805 件	223 人
令和2年度	2,464 件	1,278 件	220 人
令和3年度	2,510 件	1,613 件	198 人
令和4年度	2,737 件	1,290 件	191 人
令和5年度	3,695 件	2,432 件	196 人
令和6年度	4,722 件	3,349 件	226 人

- ⑤ 利用者等
利用者は、50代が23%、60代が21%、70歳以上が17%と高齢化が進んでいる。

V 決算の状況

1 損益計算書（税抜き）

（単位：円）

項 目 \ 年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
病院事業収益	4,332,421,606	3,689,338,793	3,749,822,697	3,964,508,677
(1) 医業収益	2,830,445,453	2,648,976,258	2,811,111,761	2,898,961,575
入院収益	2,036,766,274	1,870,419,719	2,002,672,058	1,994,116,522
外来収益	502,769,661	490,109,512	509,458,773	545,353,924
その他医業収益	290,909,518	288,447,027	298,980,930	359,491,129
(2) 医業外収益	1,489,045,424	1,040,362,535	937,573,723	1,061,622,942
受取利息	19,111	21,277	24,061	898,724
他会計補助金	526,923,420	90,600,320	46,608,290	15,318,050
他会計負担金	745,777,000	750,562,000	729,013,000	884,963,000
患者外給食収益	1,577,830	1,492,784	1,803,814	1,762,147
長期前受金戻入	143,071,802	126,367,159	121,802,274	124,090,519
資本費繰入収益	57,600,000	45,987,000	15,524,000	18,326,000
その他医業外収益	14,076,261	25,331,995	22,798,284	16,264,502
(3) 特別収益	12,930,729	0	1,137,213	3,924,160
病院事業費用	4,122,234,852	3,972,516,214	3,850,809,121	4,080,082,417
(1) 医業費用	3,977,342,552	3,809,942,151	3,697,926,960	3,893,718,522
給与費	2,866,518,434	2,734,546,109	2,690,205,992	2,883,398,571
材料費	149,591,945	152,959,248	162,976,211	157,117,630
経費	620,421,772	632,261,109	596,661,829	612,424,186
減価償却費	309,462,577	279,999,866	235,233,252	228,867,961
資産減耗費	23,592,764	2,336,845	2,377,680	1,673,261
研究研修費	7,755,060	7,838,974	10,471,996	10,236,913
(2) 医業外費用	139,783,828	156,728,513	147,050,028	147,979,183
支払利息	47,124,473	44,316,799	41,809,628	39,266,134
雑費用	92,659,355	112,411,714	105,240,400	108,713,049
(3) 特別損失	5,108,472	5,845,550	5,832,133	38,384,712
(収益) - (費用)	210,186,754	△283,177,421	△100,986,424	△115,573,740

2 貸借対照表 (税抜き)

(単位：円)

項 目		年 度				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
資 産	固定資産	土地	6,510,735	6,510,735	6,510,735	6,510,735
		建物	3,214,359,400	3,107,389,334	2,954,203,001	2,822,096,533
		構築物	74,616,363	65,185,929	62,343,998	59,502,067
		器械備品	280,056,275	223,191,835	225,128,565	224,142,715
		車両	2,935,191	2,210,944	1,658,071	2,504,265
		リース資産	23,407,274	18,269,093	13,130,912	7,992,731
		建設仮勘定	11,727,273	0	0	0
		電話加入権	38,000	38,000	38,000	38,000
		その他無形固定資産	13,624,804	10,342,918	7,061,032	3,779,146
		長期前払消費税	24,930,204	25,987,967	28,549,139	32,026,039
		計	3,652,205,519	3,459,126,755	3,298,623,453	3,158,592,231
	流動資産	現金・預金	1,650,019,106	1,502,592,482	1,354,331,575	1,282,548,802
		未収金	571,183,070	473,406,906	433,287,564	461,018,638
		貸倒引当金	△11,385,632	△27,840,666	△26,203,453	△22,279,293
		貯蔵品	8,580,578	7,521,923	6,973,435	8,278,726
計		2,218,397,122	1,955,680,645	1,768,389,121	1,729,566,873	
資産合計		5,870,602,641	5,414,807,400	5,067,012,574	4,888,159,104	
負 債	固定負債	その他固定負債	3,156,437,105	3,054,947,478	2,943,988,264	2,831,665,233
		計	3,156,437,105	3,054,947,478	2,943,988,264	2,831,665,233
	流動負債	未払金	292,094,225	338,072,725	212,945,644	280,606,867
		その他流動負債	426,241,328	354,063,939	377,397,036	398,257,633
		計	718,335,553	692,136,664	590,342,680	678,864,500
	繰延収益	長期前受金	2,272,275,155	2,353,713,010	2,441,460,080	2,526,072,080
		収益化累計額	△1,320,614,478	△1,446,981,637	△1,568,783,911	△1,692,874,430
		計	951,660,677	906,731,373	872,676,169	833,197,650
	負債合計		4,826,433,335	4,653,815,515	4,407,007,113	4,343,727,383
	資 本	資本金	自己資本金	3,852,950,648	3,852,950,648	3,852,950,648
計			3,852,950,648	3,852,950,648	3,852,950,648	3,852,950,648
剰余金		資本剰余金	-	-	-	-
		利益剰余金	△2,808,781,342	△3,091,958,763	△3,192,945,187	△3,308,518,927
		計	△2,808,781,342	△3,091,958,763	△3,192,945,187	△3,308,518,927
資本合計		1,044,169,306	760,991,885	660,005,461	544,431,721	
負債・資本合計		5,870,602,641	5,414,807,400	5,067,012,574	4,888,159,104	

3 財務分析

項 目		年 度			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
資産及び資本構成 (%)	固定資産構成比率	62.2	63.9	65.1	63.4
	自己資本構成比率	17.8	14.1	13.0	12.5
	固定比率	349.8	454.6	499.8	508.0
	固定資産対長期資本比率	86.9	90.6	91.5	91.3
	流動比率	308.8	282.6	299.6	266.4
	現金比率	229.7	217.1	229.4	188.1
回 転 率 (回)	自己資本回転率	0.73	0.69	0.73	0.75
	固定資産回転率	0.75	0.75	0.83	0.90
	未収金回転率	4.78	5.07	6.20	6.48
損益比率 (%)	総収益対総費用比率	105.1	92.9	97.4	97.2
	医業収益対医業費用比率	71.2	69.5	76.0	74.5
	不良債務比率	-	-	-	-

4 経営分析

項 目		年 度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
病床利用率 (%)				72.7	67.5	71.3	68.9
外来入院患者比率 (%)				94.0	100.1	95.0	101.1
1日あたり 患者数 (人)	医師	入院		8.1	8.0	8.7	8.0
		外来		7.6	8.0	8.2	8.1
	看護 部門	入院		1.1	1.0	1.1	1.1
		外来		1.1	1.0	1.0	1.1
患者1日1人あたり 診療収入 (円)		入院		27,803	27,508	27,803	28,745
		外来		7,305	7,202	7,446	7,774
職員1日1人あたり 診療収入 (円)		医師		281,140	278,167	301,685	292,971
		看護 部門		39,070	36,299	38,291	39,016
患者1日1人あたり 薬品費 (円)		投薬		373	345	335	342
		注射		446	503	559	553
		計		819	848	894	895
薬品使用効率 (%)		投薬		97.4	92.9	92.3	88.5
		注射		108.1	110.2	111.7	112.2
医療材料消費率 (%)				5.8	6.4	6.5	6.2
診療収入に 対する割合 (%)		投薬注射収入		4.7	5.0	5.2	5.1
		検査収入		1.6	1.9	1.2	1.6
		放射線収入		0.5	0.5	0.4	0.6
対医業収益費 (%)		薬品費		4.1	4.4	4.5	4.3
		その他材料費		1.2	1.4	1.3	1.1
		職員給与費		101.3	103.2	95.7	98.6
患者100人 あたり (件)		検査件数		90.2	91.1	92.7	95.7
		放射線件数		1.5	1.5	1.7	1.6
病床100床 あたり職員数 (人)		医師		8.7	8.0	8.3	8.7
		看護部門		64.5	65.2	64.9	65.2
		全職員		96.4	96.7	96.7	97.8
職員1人あたり給与費 (千円)				7,424	7,463	7,596	7,621

*病床利用率は、運用病床で算出している。

VI 令和7年度予算

1 収益的収入及び支出

収入

(単位：千円，%)

款	項	目	予算額	構成比
事業収益			4,357,182	100.0
	1 医業収益		3,294,530	75.6
		1 入院収益	2,365,220	54.3
		2 外来収益	577,083	13.2
		3 その他医業収益	352,227	8.1
	2 医業外収益		1,061,652	24.4
		1 受取利息	300	0.0
		2 他会計補助金	13,892	0.3
		3 他会計負担金	878,840	20.2
		4 患者外給食収益	0	0.0
		5 長期前受金戻入	129,344	3.0
		6 資本費繰入収益	20,814	0.5
		7 その他医業外収益	18,462	0.4
	3 特別利益		1,000	0.0
		1 固定資産売却益	0	0.0
		2 過年度収益修正益	1,000	0.0

支出

款	項	目	予算額	構成比
事業支出			4,312,885	100.0
	1 医業費用		4,228,016	98.0
		1 給与費	3,023,855	70.1
		2 材料費	185,627	4.3
		3 経費	773,640	17.9
		4 減価償却費	226,785	5.3
		5 資産減耗費	2,510	0.1
		6 研究研修費	15,599	0.4
	2 医業外費用		77,869	1.8
		1 支払利息	37,856	0.9
		2 雑費用	38,413	0.9
		3 消費税	1,600	0.0
	3 特別損失		6,000	0.1
		1 固定資産売却損	0	0.0
		2 過年度損益修正損	6,000	0.1
		3 その他特別損失	0	0.0
	4 予備費		1,000	0.0

2 資本的収入及び支出

収入

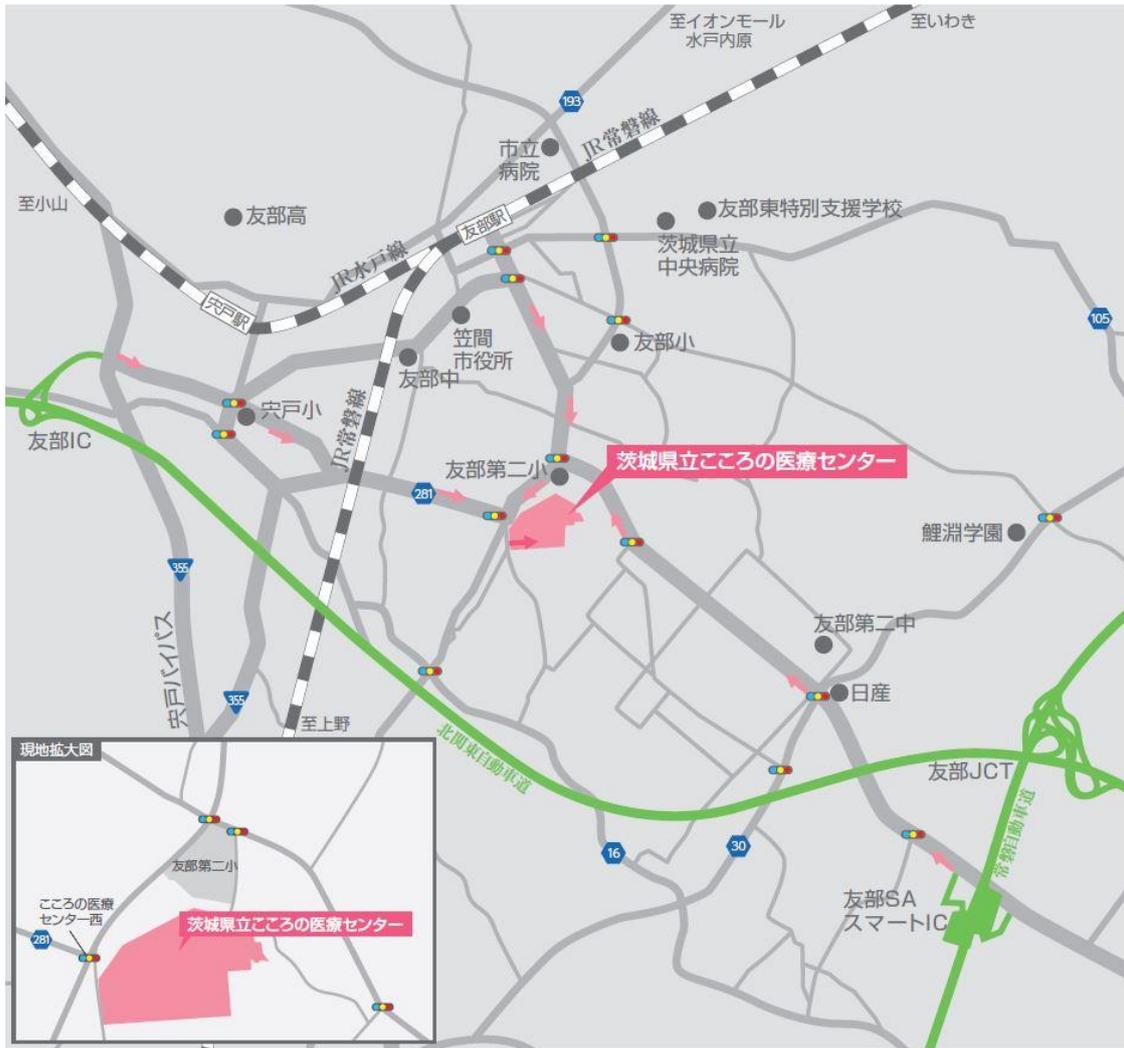
(単位：千円，%)

款	項	目	予算額	構成比
資本的収入			214,503	100.0
	1 企業債		103,700	48.3
		1 企業債	103,700	48.3
	2 負担金		110,695	51.6
		1 負担金	110,695	51.6
	3 補助金		108	0.1
		1 国庫補助金	108	0.1

支出

款	項	目	予算額	構成比
資本的支出			329,517	100.0
	1 建設改良費		107,947	32.8
		1 建設改良工事	56,210	17.1
		2 資産購入費	47,537	14.4
		3 リース資産購入費	4,200	1.3
	2 償還金		221,390	67.2
		1 企業債償還金	221,390	67.2
	3 投資		180	0.1
		1 その他投資	180	0.1

Access Map



交通のご案内

◎JR友部駅からバス(茨城交通)をご利用の場合

- ・「こころの医療センター・モノタロウ行き」に乗り、「こころの医療センター」下車
- ・「水戸駅行き」「循環」に乗り、「友部第二小学校前」下車、徒歩8分

◎自動車をご利用の場合

- ・JR友部駅から約7分
- ・常磐自動車道水戸ICから約20分
- ・常磐自動車道岩間ICから約20分
- ・常磐自動車道友部SAスマートIC(ETC専用)から約15分
- ・北関東自動車道友部ICから約10分



予約申込 当院の外来診療は予約制です。

■外来初診予約センター
TEL.0296-77-1359
■予約の変更・キャンセル
TEL.0296-77-1159

■児童・思春期予約センター
TEL.0296-77-1624
■予約の変更・キャンセル
TEL.0296-77-1151

月曜日から金曜日まで
(祝祭日・12月29日から1月3日までを除く。)



茨城県立こころの医療センター

〒309-1717 茨城県笠間市旭町 654
電話：0296-77-1151(代表)
(URL) <https://www.mc-kokoro.pref.ibaraki.jp/>